

金属部品の新会社設立

アー
デザイン
アル
ファ
デザ
イン

富山の企業の事業継承

産業用自動化機器製造のアルファデザイン(東御市、森沢正良社長)は、100%出資の子会社を設立し、5月に民事再生法の適用を申請した金属部品製造の砺波製作所(富山県砺波市)の事業を引き継いだ。自動化機器の受注が低迷する中、金属部品加工の技術を取り込み、比較的需

要が安定して今後成長も見込める医療機器や農業機械の分野に事業を拡大するほか、部品の内製化によるコスト削減を狙う。砺波製作所は、板金、プレス加工、切削、組立といった金属加工全体を手掛け、自動車、建設機械、医療機器向けなど幅広く展開してい

た。しかし、昨年以降、主力だった自動車や建設機械の受注が急減し、収益が悪化した。

一方、アルファデザインは、主力とする半導体や電子部品のオーダーメイド製造装置の受注が落ち込み、2009年6月期の売上高は約20億円、前期比約3割減。森沢社長は「リスクは高いが、一歩でも確実に前に進む。オーダーに幅広く応じて業績の安定を図りながら成長していきたい」とし、新会社では医療

機器や農業機械に重点を置いて売り上げの確保を図る考えだ。

現在、新会社は砺波製作所の名称を継承。旧会社の本社工場と井波工場(富山県南砺市)の土地や建物、生産設備などを約3億円で取得して森沢社長が社長を兼務。約120人を継続して雇用し、今月から事業を始めた。アルファデザインの部品製造の一部も担い、2010年6月期には売上高10億円を目指す。